

令和7年度
美唄市郷土史料館講座

『東西蝦夷山川地理取調図』



19世紀空知のコタンと人々

2026

1/
24 土
14:00~15:30

1974年に北海道大学工学部卒業。民間企業での勤務を経て、同大学歯学部に入学。84年に卒業。86年、美唄市にて歯科医院を開業。大学在学中より趣味として言語学を学んでいたが、92年からは本格的に地名研究を開始。著書に『アイヌ古道(空知)』、『19世紀 空知のアイヌ史』『アイヌ語地名における「位置名詞」と「car,par,put」』がある。

講師 平 隆一 氏
アイヌ文化研究家

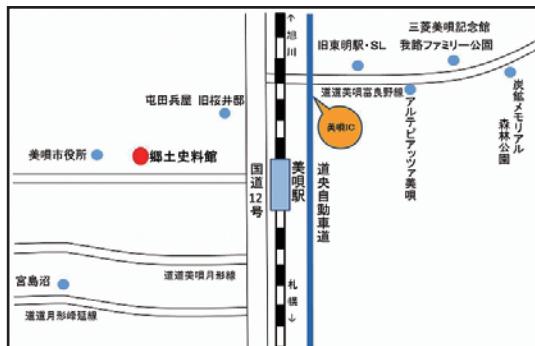
19世紀初頭の空知には、数多くのコタン(アイヌの集落)が存在し、多くの人々が住んでいました。その一人一人に人生があり、歴史がありましたが、ほとんどが忘れ去られていきました。

しかし、江戸期から明治期にわたる文献等を丹念に紐解き、その片鱗を集めることで、当時の人々の暮らしをある程度まで再現できるようになりました。今回は、その結実の一部について詳しくご説明いたします。

入場無料 / 定員36名

会場

美唄市郷土史料館 2階
視聴覚室



主催・お申込先

美唄市教育委員会生涯学習課美唄市郷土史料館
〒072-0025 美唄市西2条南1丁目2-1
TEL:0126-62-1110
HP: <https://www.city.bibai.hokkaido.jp/soshiki/37/1237.html>